

# 祝！開園 70 周年

おかげさまで高崎山自然動物園は令和 5 年 3 月 15 日に開園 70 周年を迎えました  
今後とも どうぞよろしくお願いいたします



## 高崎山はじまり物語

標高 628.4m の高崎山は火山活動を終えています、50 万年前頃噴火をした山です。戦国時代には山頂に難攻不落といわれた高崎山城がありました。

「豊府聞書」という古文書によると、江戸時代には高崎山にサルが棲みついていたようです。

1952 年 11 月 26 日、当時の大分市長上田保氏自ら万寿寺別院の庭に立ってぼら貝を吹きならし、リンゴをまいてサル寄せを始めました。しかし、サルたちはリンゴの味を知らなかったためか一向に集まりませんでした。

そこで、別院の大西和尚の協力を得て、サツマイモをサイの目に切って与えるなどの苦心の末、ようやく餌付けに成功し、サル寄せ開始から数か月が経過した 1953 年（昭和 28 年）3 月 15 日に高崎山自然動物園が開園しました。開園当初の入園料は、大人も小人も 10 円。「入園料 大人は小人並み」というフレーズで話題になりました。

サル群は 1 群のみで、サル寄せを開始した時にリーダーとして君臨していたのが「ジュピター」です。

ジュピターは「精悍極まりなく、鋼鉄のパネ入りのような四肢。高い知能と狡猾さで機敏な頭脳を持ち、細心にして強胆、英雄の名をばしにまににたサルだった」とのことです。その雄姿からギリシャ神話の神にちなんで命名されました。



現在、ジュピターの骨格標本は、おさる館に展示されています！  
また、園内にはジュピター像があります！会いに行ってみて！



★大分市内の小学生・中学生は入園無料です。学生証などを見せて入園してください。

ご意見・ご要望をお待ちしています。



〒870-0802 大分市神峰 3098-1  
TEL097-532-5010 FAX097-536-2500  
E-mail info@takasakiyama.jp  
http://www.takasakiyama.jp

# 高崎山通信

-Takasakiyama Public relations magazine-

国立公園  
高崎山  
自然動物園  
2023. 春号  
No.5

おいモ…美味しいよね



写真提供：Yui.Osa



70th Anniversary



皆さんの撮影したステキなお写真で表紙を飾ってみませんか？  
なお、お写真・データはお返しできませんので、ご了承ください。

見てみて！

スタッフブログ・フェイスブック・Instagram・Youtube で  
高崎山自然動物園のサルの出来事を紹介しています。



## C 群第 1 位「ロバート」の驚きの!? 恋の出来事

「ロバート」が C 群第 1 位に就任して 1 年が経ちました。  
今シーズンのロバートの恋愛事情をお伝えします。彼は非常に C 群の中でモテるオスで、今シーズンも「オフセ」、「ビャクレン」、「ファー」、「ミミカキ」、「アイドル」等、数多くのメスザルとお付き合いしました。

恋愛シーズンの終盤、衝撃的な出来事が起きました。ある日、B 群と C 群がいつものようにサル寄せ場に同時に下りてきていました。B 群の「ビビリ」、「スッキリ」の 2 頭のメスザルが C 群に乗り込んできて、C 群のロバートを誘惑したのです。ロバートはその 2 頭とカップルになりました。2 頭がいなくなったあとロバートは B 群側を眺めていて、B 群に惹かれている様子でした。このところ、C 群から B 群へ移籍するオスザルが目立っているためロバートが移籍しなければいいなあと思います。



B 群のメスザル



C 群のメスザル



## 注目のサル「ゴロー」イケメンですね!

今年の恋愛で非常にモテていた B 群第 2 位「ゴロー」  
「ゴロー」は圧倒的な存在感、威圧感を感じさせるオスザルです。C 群に対して 1 頭で向かっていくほどの勢いがあります。

また、昨シーズンの B 群第 1 位のメスザル「ヤケイ」との恋愛模様で注目を集めました。

高崎山選抜総選挙のイケメン部門では、お客様から選ばれて堂々の 1 位を 2 回も獲得したほどです。

イケメンで実力を兼ね揃えたゴローは、今後ますます B 群の中で存在感を示していくのではないかと思います。

B 群第 2 位ゴロー

## 寒かった冬～B 群「マツバ」親子～

12 月後半から 2 月にかけて寒い日が続き、滅多に雪が降らない高崎山も園内が雪で真っ白になりました。

お客様から「サルは寒くて大変だったでしょう」と声をかけていただくことが多く、心が温くなりました。

ご安心ください。サルたちは大丈夫でした。冷たい風が吹く日や、吹雪のような日は、風の当たらない場所でしっかり身を寄せ合っているのを見ていました。

お客様から特に心配して頂いたのは「マツバ親子」でした。

マツバは、自分が生んだ赤ちゃんザルと迷子の赤ちゃんザルと一緒に育てている優しい母ザルです。

マツバの実子は 2021 年 5 月 31 日生まれのおスザルです。

その約 1 カ月後の 6 月 30 日にマツバは実子と迷子の赤ちゃんザルを抱いて山から下りてきました。

迷子の赤ちゃんもおスザルでした。私たちスタッフはどちらがマツバの子なのか見分けがつかない。マツバはどちらも同じように分け隔てなく育てています。赤ちゃんザルは生まれて 1 週間ほどで歩く練習を始めます。歩き初めは、赤ちゃんザルが好奇心に駆られて母親から離れようとする場合や、母ザルにしがみついたまま自分では歩こうとせず、母ザルが赤ちゃんザルを地面におろして歩みを促す場合などがあります。どちらも赤ちゃんザルが歩けるようになるまで、母ザルたちは上手に誘います。

赤ちゃんザルが歩けるようになると大変です。母ザルが少し目を離すと、ケンカに巻き込まれたり、大人のサルに近づきすぎると邪魔だと投げ飛ばされたり、咬みつかれたりすることがあるからです。鳥や動物に狙われることもあります。ですから 1 頭育てるだけでも

大変なことです。それを 2 頭とも無事に育てているマツバは凄いなと思います。生まれて 1 年半が経ち、マツバが育てた 2 頭のコザルは他のコザルと同じくらいに大きくなりました。2 頭ともしっかりお乳をのみ、しっかり育ったということです。

例年にも増して寒かった今年の冬、マツバの家族は仲良く体を寄せ合っていました。

赤ちゃんだった 2 頭は元気なコザルになりました。まだまだマツバについて回って甘えています。オスザルは 3、4 才頃になると生まれた群れを離れます。

今のうちにたくさん一緒に過ごしてほしいと思います。



マツバの家族 (前の 2 頭が一緒に育てたコザル)